

学校だより



造賀

笑顔いっぱい

発行No.2

発行年月日 令和6年4月19日

発行 東広島市立造賀小学校
東広島市高屋町造賀 2774-1

TEL (082) 436-0002

FAX (082) 430-2160



新年度 始まりました



4月8日(月)、就任式、始業式、入学式と3つの式を無事に終え、新年度がスタートしました。

始業式での『笑顔いっぱい』の学校をみんなで作っていきましょうという校長先生からの話を子どもたちは集中して聞いていました。

校長先生のお話の中には、「笑顔いっぱい」の学校をつくるためにがんばってほしいこととして、「元気いっぱい」「やさしさいっぱい」「あいさついっぱい」の3つの「いっぱい」がありました。

「元気いっぱい」

元気で過ごすためには、早寝早起きをして、朝ご飯をきちんと食べたり体をしっかりと動かしたりすることが大切です。

「やさしさいっぱい」

「やさしさいっぱい」の学校にしていくためには、友達を大切にするやさしい心をもつことが大切です。自分が嬉しいと思ったことを人にすること、そして、何かをしてもらったらお礼の気持ちを伝えるなど、「やさしい心」を行動と言葉で表現して、みんなが仲良くできる学校にしていきましょう。

「あいさついっぱい」

今まで以上に「あいさつ」をがんばりましょう。家でも、地域でも、どこでもあいさつができるようにしましょう。

自分の心をしっかりと育て、あたりまえのことがきちんとできる「あいさついっぱい」の学校をつくっていきましょう。

造賀小学校のみんなで「3つのいっぱい」に取り組み、笑顔いっぱいの学校を創っていきましょう。



交通安全教室

4月11日（木）2校時、交通安全教室を実施しました。
3名の交通指導員の方に、班旗の正しい使い方や横断歩道の渡り方等、安全な登下校の仕方について指導していただきました。



「班旗は命を守る旗です。班長さんは一人一人の命を預かっています。班旗を車道側に見せて、『私たちが通っています！』と運転手さんに示すことが大切です。」と教えていただき、班旗の正しい使い方について指導をしていただきました。班員を横断歩道を安全に渡らせるために、左右確認や「渡れ」の合図の練習をした後、信号機や横断歩道のある歩行コースを班員と一緒に歩く練習をしました。

今年度も、命を大切に、みんなで安全に登下校をしていきましょう。

自転車教室（4・5・6年）

3校時は4・5・6年生の自転車教室でした。自転車の安全な乗り方や自転車の点検の仕方についてお話をいただきました。



「自分の命は自分で守る」という気持ちを強くもち、左右確認、後方確認、カーブミラーの活用などしながら安全な乗り方をしましょう。

自転車の点検の合言葉は「ブタはしゃべる」です。

ヘルメット着用の大切さについても実験を交えて教えていただきました。

脳みそに見立てた豆腐を実際に落下させると、豆腐はぐちゃぐちゃになりました。しかし、ヘルメットに入れて、落とすと、豆腐は全く傷んでいません。子どもたちは、ヘルメット着用の大切さを実感してくれたようです。

ブ…ブレーキ タ…タイヤ は…反射材 シャ…車体 ベル…ベル
を点検しましょう。